

作業療法士について

訪問リハビリでの作業療法

訪問リハビリは利用者様のお宅に伺うことができます。そのため生活で困っていることを実際に確認し、「どうすればできるようになるか」「楽に動作ができるようになるか」を一緒に考えていきます。その際には体の動きを見るだけでなく、環境面(手すりや福祉用具)の設定も行なっていきます。

家でお風呂に入りたい！

腰の圧迫骨折の A さん。

自宅で安全に入浴できるようリハビリを行いました。

訪問時には、空のお風呂で浴槽を跨ぐ練習や、腰に負担のかからない動作の確認を一緒に実施。同時に A さんの身長や動作のしやすさに合わせて、手すりの設置を提案しました。福祉用具として体を洗う時のシャワーチェア、浴槽台(浴槽の中に入れて使う椅子)などの利用を提案。

最初はスタッフが付き添いながら入浴を始めました。

ご家族様にも注意して頂きたい点をお伝えし、

徐々にご家族様介助での入浴へ。

今ではお一人でお風呂に入れています。



箸が使いづらい...

手に麻痺のある B さん。

箸が使いづらいとお話がありました。

リハビリでは手の可動域練習や細かい動作の練習を実施。

同時に、自宅でできる自主トレーニングを行なって頂きました。

また自助具の箸の使用を提案。市販の自助具箸は B さんの手の大きさに合わなかったため、市販の材料を使用し、B さん専用の箸を作成。

B さん用の箸を使用し、楽にお食事ができるようになりました。



作業療法士とは...

作業療法士は「食事・入浴・歯磨き・家事・仕事・趣味」など、毎日の生活に必要な生活動作・応用動作の回復を目指すリハビリを行います。あらゆる作業を通して、個々の利用者様が楽しみや役割を持ち、自分らしい生活が送れるようお手伝いします。



作業療法(訪問リハビリ)の対象になる方

こんな方におすすめです！

- 病気やけがで入院して、退院した直後の方
- 体力的に通所サービス(デイサービス)などの利用が難しい方
- 通所サービスを利用しているが、自宅内での生活や環境に不便がある方
- ご家族に介助してもらっているが、効率的な介助方法を知りたい方
- 持病の影響で大勢の方が集まる通所サービスの利用が難しい方



主な疾患...

- 心疾患 ※
- 呼吸器疾患 ※
- 内部疾患
- 骨折
- 加齢により心身機能が低下している方など
- ※当事業所で特化している疾患です。
- 廃用症候群
- 脳卒中
- 認知
- 神経難病



上記以外のご病気を持っている方でも、リハビリを提供させて頂いています。

ご利用を検討されている方は、当ステーション、ケアマネージャーに
ご相談ください！

作業療法士はこんなことをします！



運動機能練習

- 骨折や麻痺で動かしづらくなった手足の機能練習
- ご自宅でできる自主トレーニングの提案



日常生活動作練習

- 食事、トイレ、入浴などの動作練習



応用動作練習

- 家事(調理、掃除、洗濯など)
- 趣味活動(畑仕事、編み物など)



環境調整

- 自助具の作成、提案
- 福祉用具、住宅改修の提案



高次脳機能、認知機能への対応



介助方法のアドバイス

その他にも買い物練習や公共交通機関を使った外出練習など、その方にとって必要なことや動作と一緒に練習していきます。

生活していて大変なこと、こんなことができるようになりたい/できるようになってほしいなど、ご要望がございましたらお手伝いさせていただきます！